

学んで行動する 議会へ

市政調査会

〔研修日〕

令和元年11月11日

〔参加議員〕

17名



◆岩手県市議会議員研修会

第1部は嘉悦大学教授の高橋洋一氏による「最近の政治経済情勢」と題する講演。

高橋氏が大蔵省時代に携わった政府のバランスシート作成の話から、社会保障制度、消費税、財政投融资など多岐にわたった。国の財政は借金の額でなく、バランスシート(財務諸表)で判断することが大切との指摘は、興味深かった。

第2部は、早稲田大学マニユフェスト研究所顧問の北川正恭氏が「自治体改革のための議員の意識改革」と題し、政治の近代史から地方議会の現在の課題について講演された。

「民意の代表が議会であり、市民に理解される議会組織に」との呼びかけを重く受け止め、議会活動の質を高め、充実させていくことが大事であると再認識した研修であった。

会派研修 遠野令和会

〔調査日〕

令和元年 11月12・13日

〔参加議員〕

照井 文雄

菊池 巳喜男

菊池 浩士

菊池 美也

瀧本 孝一

◆「2040未来ビジョン出前セミナーin青森」に参加

人生100年時代の課題は、

- 医療と介護の一体化
 - 生活支援
 - 地域の共生
- 住民ニーズに沿った健康&ケアのまちづくりが求められる。



講師に中澤まゆみ氏(ノンフィクションライター)をお招きし、「一人暮らしの高齢世帯と在宅医療/介護」と題した講演が行われた。

◆八戸市、地域担当職員制度の成果は

地域担当職員制度による、地域コミュニティの振興策について話を伺った。

成果は、地域と行政の情報共有が進んで連携が促進されたこと。「行政との距離が縮まった」「この制度がないと行政と地域との信頼関係が無くなる」等の声が市民から寄せられた。

一方で課題は、職員の活動に公私の区別がつきにくいとのこと。当事においても、小さな拠点による地域づくりを推進するうえで、市職員がパイプ役として身近な窓口となり、支援する仕組みは有効である。地域と市職員の信頼関係と相互理解の深まりを期待する。

教育民生 常任委員会 行政視察

〔調査日〕

令和元年

10月16日〜18日

〔調査研修箇所〕

・北海道上川郡新得町 農事組合法人

「共働学舎新得農場」

・北海道河東郡上士幌町「かみしほろ学園

(コミュニティスクール)

〔参加委員〕

菊池 美也

菊池 浩士

佐々木 僚平

萩野 幸弘

菊池 巳喜男

浅沼 幸雄



共働学舎新得農場で宮嶋代表より話を聞く

◆農福連携による障がい者雇用と独立自活の取り組みについて

農福連携の先駆的取り組みをしている共働学舎の理念は、一人ひとりの個性に応じた仕事で経営を成り立たせる事。共働学舎の農福連携は、農業経営者が障がいの有する人を

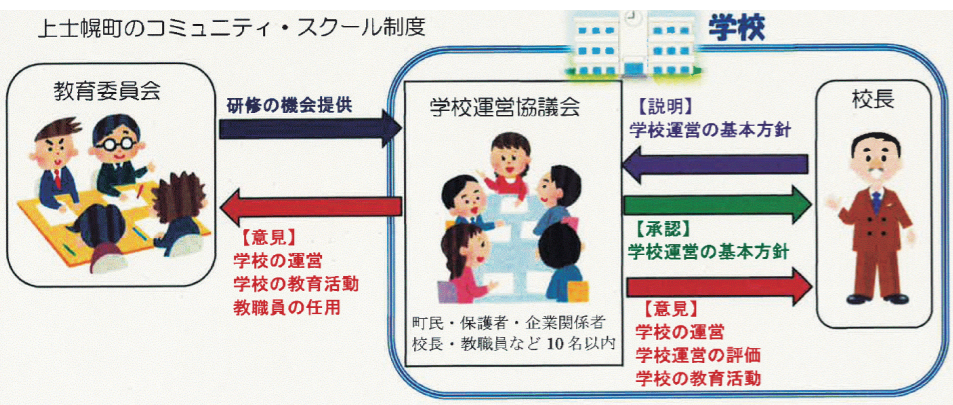
雇用して共に働き、作業を手助けしてもらうことではなく、いろいろな理由から社会での居場所を見つけれない人達が農業をする事で自立をはかっている。今後目指すべき方向のひとつであると考えている。

◆「かみしほろ学園(コミュニティスクール)の取り組み

上士幌町では、地域総ぐるみで子どもの育ちに関わる仕組みとして町内各学校に町民、保護者、企業関係者、学校関係者で構成する学校運営協議会を

設置している。『かみしほろ学園』とは、町内全学校を総括する理念学園の呼称で、学校運営協議会同士の交流や情報交換により、教職員の負担軽減や学校と地域との交流に成果をあげている。

特徴的なのは、コミュニティスクール(CS)コーディネーターの配置であった。CSコーディネーターは学校と



市民の声

むし歯予防の実践効果を期待しております。「むし歯の少ない遠野の子ども」遠野の誇りとなります様に。(東館町、89歳、女性)

高齢者運転免許証自主返納については、他人事ではないので、足の確保はちゃんと考えてほしい。(鶯崎町、65歳、女性)

問に対しての答えがわかりやすく、写真など回をますごとに、目を通す様になりました。(土淵町、52歳、女性)